

2

女性の人権／男女共同参画

「ちがいのちがい！」

1 対象

小学校4年生～6年生

2 ねらい

「あってもよいちがい」と「あってはいけないちがい」について考えることをとおして、社会における「あってはいけないちがい」についての解決方法や対処の仕方について自分の考えをもち、実践する意識をもたせること。

3 準備するもの

- ワークシート
- アイスブレイキングで使用する物品

4 解説

この時期の子どもたちの性役割についての認識は、それまでの職業や外見など外面的次元によるステレオタイプの理解から、女／男らしさなど性格や特性という内面的な理解へと進み、さらに性差を意識するようになってくる。そこで、自分の内面や社会におけるジェンダー・バイアスに気づき、個性は女性、男性という性によって決まるものではないことを理解する学習とともに、「社会」の状況や女性の「権利」にも目を向けた学習を設定した。この「ちがいのちがい！」は様々な場面で参加型学習として取り入れられている。ここでは、男女のちがいの具体的な問題を、それは「あってもよいちがい」（文化や個性の多様性など）なのか、それは「あってはいけないちがい」（偏見に基づいた意識、差別など）なのかに分ける活動をとおして、子どもたちに様々な気づきを促す学習とした。また、この「ちがいのちがい！」は学級で日常的にでてくる問題について発展させて考えることもできる。日常あまり深く考えたことのないことでも、こうして「あってもよいちがい」なのか「あってはいけないちがい」なのかを考えてみると、様々な人権問題につながることに気づくことができる。

5 進め方（展開例） 45分

| 時間 | 学習の流れ（活動・内容） | 留意事項 | 資料など |
|---|---|--|---|
| 導入 10分 | <p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（8分）</p> <p>「〇〇の使い道」</p> <p>①教員が示した物の使い道をグループで考え、用紙に書きだす。</p> <p>②制限時間（2分間）を設けて、何通りの使い道を書けたか、クラス全体に発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを簡単に説明する。 〔P4「学習を進めるにあたって」の内容〕を生徒に伝える。 ・4人程度のグループで行う。 ・面白い使い道があったら併せて紹介する。 ・まとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・物品（例） <ul style="list-style-type: none"> 新聞紙 ハンカチ ボール など ・使い道をまとめる用紙 |
| <p>・一つの事柄についても、人によっていろいろな考え方があることを実感する。</p> | | | |

| | | | |
|-------------------|--|--|---|
| <p>展開 30分</p> | <p>◆アクティビティ（30分） 「ちがいのちがい！」 ①日常生活の中で、「女の子なのに」、「男の子だから」といって、違いをつけられたことはないか思い出す。 ②ワークシートの①～⑥の事例について「あってもよいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」のどれにあたるかをグループで話し合い、それぞれの理由を含めて、クラス全体に発表する。 ③各グループの発表を聞き、「あってもよいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」について気づいたこと、わかったことを個人でまとめる。 ④「あってはいけないちがい」を解決する方法や対処の仕方について、グループで考え、クラス全体に発表する。 ⑤④で発表された意見をもとに、今後、自分が実践しようと思ったことを書く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配付する。 自分とちがう人の意見にも耳を傾けるように促す。 児童の多様な意見を取り入れる雰囲気作りをする。 全グループの発表後に、グループでは気がつかなかった感想について発表させてもよい。 <p>回答（想定） ①× ②○ ③× ④× ⑤○ ⑥○</p> <p>解説 ①③決めつけられる場合は×だが、さまざまな意見が出てくることも予想される。しっかりと受け止めたい。 ④「励ます」ということから意見が出る可能性もある。まとめ方に注意したい。 ⑥事前に女子からも選ぶ必要がないか確認したほうがよかったなどの意見が出る可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級で日常的にでてくる問題についても、それが「あってもよいちがい」なのか「あってはいけないちがい」なのかを考えることができることを知らせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート |
| <p>まとめ 5分</p> | <p>◆まとめ（5分） ・まとめの話を聞く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 授業をとおして児童から出された感想や記述をもとに、ねらいを押さえ、まとめる。 | <p>・「性別にもとづく偏った意識」にとらわれず、「自分らしさを大切に生活することが大切である」ことに気づくことができるようにする。 ・「自分たちの生活をよくするために主体的に行動しよう」という意欲をもてるよう、自己決定したことが実践されているか振り返りをしていくことが大切である。</p> |

<参考資料など>

「人権学習のための参加体験型学習プログラム集 第2集」 神奈川県教育委員会（平成 27 年2月）

ちがいのちがい！

()年()組()番 名前_____

- 1 これまでに、「女の子なのに」や「男の子だから」といってちがいをつけられたことがなかったか思い出して、その経験があれば書きましょう。

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |

- 2 ①～⑥の「ちがい」について、

○…あってもよいちがい ×…あってはいけないちがい

△…どちらともいえない それぞれ記号を記入し、理由を書きましょう。

| | | ○×△ | 理由 |
|---|--|-----|----|
| ① | キャンプでグループの男子が火をたき、女子が野菜を切ると決めた。 | | |
| ② | マサヤさんはカレーライスが大好きだが、ヨシコさんはあまり好きではない。 | | |
| ③ | グループで荷物運びをするのは、男子と決めた。 | | |
| ④ | 泣いている男子に同じクラスの女子が「男は泣くもんじゃないよ」と言ってはげました。 | | |
| ⑤ | ユミさんはスカートが好きだが、ユカリさんはズボンが好きだ。 | | |
| ⑥ | クラスの委員5人を決めようとしたら立候補した男子のみで決まった。 | | |

- 3 みんなの話を聞いて、「あってもよいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」について気づいたこと、わかったこと、思ったことを書きましょう。

| 「あってもよいちがい」 | 「あってはいけないちがい」 | 「どちらともいえない」 |
|-------------|---------------|-------------|
| | | |

- 4 どうすれば「あってはいけないちがい」がなくなるかグループで考えてみましょう。



- 5 今日の学習をとおして、わかったこと、あなたにできることを書きましょう。

